

科目名	哲学のみちしるべ	科目分類	□専門科目群 ■総合科目群		
			全学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修	□選択
英文表記	Introduction to Philosophy	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年		
		開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中		
ふりがな	ぜにや あきお	実務家教員担当科目		修得単位	2単位
担当者名	銭谷 秋生	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	哲学が、人間とその世界の何に着目し、そこにどのような問いを見出していくのかを理解できる。さらに、そのようにして見出された問いを、哲学がどのように解いていこうとするのかを修得できる。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 哲学の伝統的な問いの内容とそれを考え抜いていくための筋道をよく理解し、説明できる。 講義の内容をさらに自主学修によっても消化し、そうして得た知見を踏まえて、哲学的な問いについて論理的に自らの所見を表現できる。 				
授業概要	この講義では、哲学の世界で探求されている代表的な問いを取り上げ、それを腑分けしながら、哲学的に考える筋道を提示します。主として取り上げる問いは、例えば「知るとはどういうことか」や「時間はどこを流れているのか」あるいは「心をもつとはどういうことか」といった、我々の世界理解や自己理解の構造や基盤を問題化する問いです。問いそのものは古典的ですが、できるだけ現代の哲学者たちの思索を参照して考察を進める予定です。				
授業計画					
第1回	イントロダクション — 哲学は何を問題とする学問なのか				
第2回	現実の世界の存在(1) — この現実は私が見ている夢ではないとどうやって言えるのか (懐疑論からの挑戦)				
第3回	現実の世界の存在(2) — この現実は何ものかが見ている夢ではないとどうやって言えるのか (真理の实在論と反实在論)				
第4回	知識とは何か(1) — 「正当化された真なる信念」という知識の定義とそれへの観念論による反駁				
第5回	知識とは何か(2) — 標準的な知識の定義とゲティア問題				
第6回	知識とは何か(3) — 知識に関する因果説				
第7回	時間とは何か(1) — 時間は実在するモノなのか				
第8回	時間とは何か(2) — 時間は「魂の内」にあるとする立場 (アウグスティヌスの時間論)				
第9回	時間とは何か(3) — 言語による世界把握としての時間				
第10回	心とは何か(1) — 心と身体をめぐる二つの謎。				
第11回	心とは何か(2) — デカルトの心身二元論とその問題性				
第12回	心とは何か(3) — 心脳同一説と心に関する機能主義				
第13回	心とは何か(4) — 非法則的一元論の展開				
第14回	善と悪はどこにあるのか(1) — 道徳的反实在の立場				
第15回	善と悪はどこにあるのか(2) — 道徳的实在論の立場				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	<ol style="list-style-type: none"> 1. 毎回、次回の講義プリントを配布しますから、必ず目を通してください。分からない用語は調べてノートにまとめておいてください。(1.5時間程度) 2. 講義で取り上げた問題について、日頃からWEBなどで関連事項を検索してください。(1時間程度) 				
履修条件 受講のルール	<ol style="list-style-type: none"> 1. 一つのテーマについて複数回連続で講義しますから、欠席しないようにしてください。 2. 毎回講義プリントを配布しますが、事前に連絡が無く欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーして下さい。 				
テキスト	特定の教科書は使いません。その代わりに、毎回講義プリントを配布します。				
参考文献・資料	<p>参考文献として、以下のものを推薦します。</p> <p>『現代哲学』 門脇俊介著、産業図書(2002)</p> <p>『心の哲学入門』 金杉武司著、勁草書房(2007)</p>				

成績評価の方法	<p>【質問票(20%)、定期試験(80%)】 上記評価項目を基にして総合的に判断します。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。</p>
オフィスアワー	<p>隔週水曜日13:00~14:30 ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。</p>
成績評価基準	<p>秀(100~90点)、優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下)</p>
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	<p>皆さんの多くは、子供の頃、「なぜ世界はあるのだろうか」とか「時間はどこを流れているのだろうか」といった哲学的な問いに襲われたことがあると思います。この講義では、そうした誰もが一度は直面する世界と人間に関する根源的な問いと、真正面から向き合います。子供の頃の好奇心を思い出しながら、受講してみてください。</p>